



平成 31 年 1 月 21 日 立川市広報課

送付文書 計 2 枚

報道機関 各位

**価値を生み出す 男女共同参画への取組み～理論と実践～****統計数理研究所・国立極地研究所・立川市の3者主催によるシンポジウム開催**

統計数理研究所、国立極地研究所及び立川市は、男女共同参画が組織の中において定着し継続するためにはどのように取り組めばよいか、理論と実践の両面から考え議論することを目的としてシンポジウムを開催いたします。男女平等参画についてアカデミアの理論と企業・自治体の具体的事例を知ることができる貴重な機会です。

取材ならびに記事掲載のほど、よろしく願いいたします。

## 記

1. 日 時 平成 31 年 1 月 29 日（火）午後 1 時 30 分～午後 5 時
2. 場 所 統計数理研究所・国立極地研究所 大会議室  
(立川市緑町 10-3)
3. 定 員 150 名
4. 参加料 無料
5. 参加に係る問い合わせ先 統計数理研究所 URAステーション  
電話：050-5533-8580  
E-mail:ask-ura@ism.ac.jp

※詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.ism.ac.jp/events/2019/meeting0129.html>

**【問い合わせ】**

立川市総合政策部企画政策課 担当：大塚正也

TEL 042-523-2111 内線 2158

# 価値を生み出す 男女共同参画への取り組み ～ 理論と実践～

2019 **1/29** [火]

13:30 - 17:00 (受付 13:00)

統計数理研究所・国立極地研究所 大会議室  
(東京都立川市緑町 10-3)

開・催・趣・旨

男女共同参画が組織の中において定着し継続するためにはどのように取り組めばよいか、理論と実践の両面から考え議論することを目的としてシンポジウムを開催します。参加者は、アカデミアの理論的な側面に触れ、企業や自治体の具体的な活動を知ることにより、価値を生み出す男女共同参画の取り組みへの理解を深めることができます。

定員

150名

参加無料

お申込みはこちら▼  
<https://peatix.com/event/582928/view>

主催：統計数理研究所、国立極地研究所、  
立川市

後援：大学共同利用機関法人  
情報・システム研究機構

問合せ先：統計数理研究所  
URA ステーション

電話：050-5533-8580

E-mail: ask-ura@ism.ac.jp

詳細はホームページをご覧ください

<https://www.ism.ac.jp/events/2019/meeting0129.html>



## Program

司会：統計数理研究所 データ科学研究系  
調査科学グループ 准教授

朴 堯星

13:30-13:40

開会挨拶

統計数理研究所 男女共同参画推進室 室長

伊藤 聡

13:40-14:10

基調講演 1

立命館大学 産業社会学部 教授

筒井淳也

14:10-14:40

基調講演 2

東京大学 大学院総合文化研究科 准教授

橋本摂子

14:40-14:50

休憩

14:50-15:15

講演 1

コマツ 人事部 ダイバーシティ推進グループ主幹

濱出友子

15:15-15:40

講演 2

立川市 総合政策部 男女平等参画課長

岡田幸子

立川市 行政管理部 人材育成推進担当課長

奥野武司

15:40-15:50

休憩

15:50-16:50

総合討論

モデレータ：統計数理研究所 データ科学研究系  
調査科学グループ 准教授

朴 堯星

16:50-17:00

閉会挨拶

国立極地研究所 男女共同参画推進室 室長

伊村 智

主催



統計数理研究所



国立極地研究所



立川市  
Tachikawa City

後援



大学共同利用機関法人

情報・システム研究機構

Research Organization of Information and Systems